



茶臼原小ならではの運動会

茶臼原小 4年 よこやまふうか 横山颯香

10月4日、日曜日に秋季大運動会がありました。全校児童45名の少ない人数でこの運動会にいどみました。

この運動会の前に、運動場を整備するためのほうし作業がありました。ほご者の方達が運動場のしばをかったり、大きな機械を使って、コースにこけがはってすべりやすい所をけすったりしてくださいました。茶小っ子のためにこんなに手間がかかる作業をしてくださっているんだなと思いました。

運動会当日は、青々とした空が広がっていました。茶臼原小の運動会は、地区の運動会でもあります。だから、自分たち小学生の競技と保護者の競技があります。地区の運動会の競技では、風船キャッチや地区対抗リレーなどがありました。運動会の次の日、わたしの父と母は、きん肉つうになっていました。それでも顔は、笑っていました。

わたしが心に残っている競技は、子ども臼太鼓踊りです。西都市ならではの踊りです。4年生にとって、臼太鼓踊りは初めてでした。最初は、足を高く上げるところがむずかしくてできませんでした。だけど、家で毎日練習して、やっとみんなについていけるようになりました。そして、いよいよ運動会当日になりました。踊ってみると、最初はきんちょうのために、がちがちになりながら踊っていました。でも、だんだん速くてリズムのよいテンポにのって踊ることができました。最後には、しっかりと決めポーズができてよかったです。来年は、「ひもろぎ」というそう具をつけて踊ります。とても重そうだけどかっこいいので、来年も一生けん命に踊りたいです。

それから、茶臼原小の運動会では、4年生になると係の仕事があります。わたしは、リーダーでした。リーダーは、おうえんでみんなを引っばっていく役目があります。練習の時には、みんながだらだらしているときもあったけど、運動会当日は、全員がおうえんをあきらめずにがんばっていてよかったです。白団がWゆう勝できたのは、みんなが協力できていたからだと思います。リーダーをやって、本当に大まんぞくでした。

茶臼原小のように、少ない人数だからこそ運動会は楽しめたのだと思います。わたしは、茶臼原小学校で本当によかったです。

